

令和4年度第2回三重県商工会議所連合会通常会員総会を開催

令和5年2月20日(月)

～令和5年度事業計画・収支予算を承認～

三重県商工会議所連合会（会長：伊藤歳恭）は、令和5年2月20日（月）ホテルセンターパレス津にて、県内12商工会議所の会頭（代理含む）・専務理事の出席のもと「令和4年度第2回通常会員総会」を開催し、令和4年度収支補正予算、令和5年度事業計画および収支予算を決定しました。



▲挨拶をする伊藤会長

伊藤会長は、挨拶の中で、『「地域をつなぎ明日へはばたく元気な三重へ」をスローガンに、各会議所が連携し、活動を展開していきたい』と述べ、また『元気な三重を目指すためにリカレント教育、リスキリングなどにより、イノベーションを起こせるスキルや知識を身につけていくことが重要である』と述べました。さらに『知事や中部地方整備局等、行政への要望・意見交換に積極的に取り組むとともに、今年6月に開催されるG7 三重・伊勢志摩 交通大臣会合を、三重の魅力を広く国内外に発信する絶好の機会としていきたい。2025年の大阪・関西万博や2026年度の東海環状自動車道の全線開通、リニア中央新幹線の品川・名古屋間開業、神宮式年遷宮など、三重県は経済活性化の大きなチャンスを迎えており、この機会を捉え、観光誘客の促進や県産品の販路拡大につなげていくことが重要だと思っている。令和5年度は、元気な三重へとはばたくスタートの年とすべく、皆様と共に前進していきたい』と述べました。



▲ 総会の様子

総会終了後は、各商工会議所 副会頭も参加し、三重県警察本部長 難波正樹 氏による「サイバー犯罪対策について」及び三重県副知事・日本赤十字社 三重県支部 副支部長 服部 浩 氏による「三重県の防災と災害時における赤十字の役割」を演題とする講演が行われ、参加者総勢61名がテーマである「危機に備える」意識を共有することができました。

その後、講師等もご参加いただき、総勢65名で懇談会を開催し、有意義な交流、情報交換が行なわれました。



▲ 講演会の様子（難波氏）



▲ 講演会の様子（服部氏）